

鶴見川出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
鶴 見 ・ 新 横 浜 出 張 所 発 行
(代 表) 鶴 見 出 張 所
電 話 045-501-3038
2013年10月10日【第07号】

台風18号の影響で鶴見川が増水し9月15日鶴見川多目的遊水地に流入しました

前線や台風周辺から流れ込む湿った空気の影響により、鶴見川流域は、15日（日）早朝から大雨となり鶴見川で増水しました。

鶴見川流域では、野川で170mm、荏田で190mmの降雨となり、亀の子橋では氾濫注意水位(5.80m)を超過し「洪水予報（はん濫注意情報）」の発表と水防警報（出動）を関係機関へ通知し警戒にあたりました。

鶴見川多目的遊水地では右の写真のとおり、今年4月6日に続き2回目の流入がありました。

また、16日8時頃、愛知県豊橋市付近に上陸した台風18号により、16日未明から大雨となりましたが、鶴見川流域は大きな降雨もなく、鶴見川多目的遊水地への流入はありませんでした。



関東地方のXバンドMPLレーダの観測範囲が広がります

近年増加する集中豪雨などの局地的な大雨により水害や土砂災害等に対して、適切な河川管理や防災活動に役立てるため、国土交通省では、局所的な雨量をほぼリアルタイムに観測可能なXバンドMPLレーダの整備を進めています。今年の9月5日からXバンドMPLレーダの観測が、以前の2カ所から下記の3カ所が追加され、今まで観測されていなかった部分も観測できるようになり、観測精度も向上しました。（XバンドMPLレーダネットワークのことを『XRAIN』と呼んでいます）

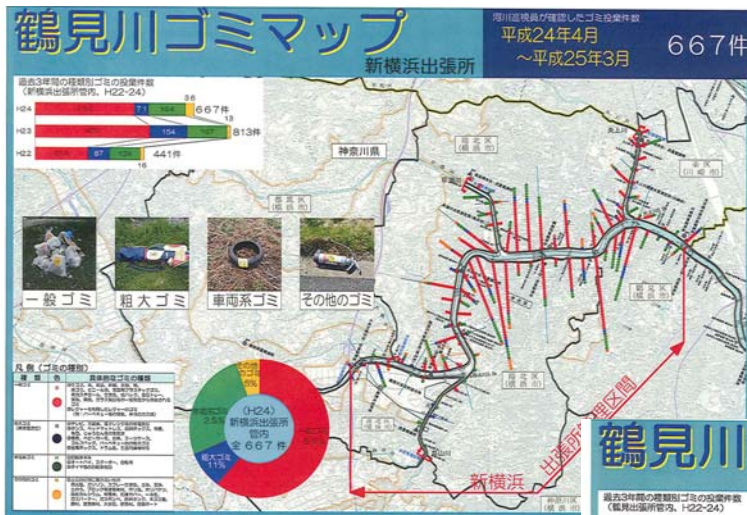


こんな雨が、
スマホなどで
わかりやすく
見ることが
できるぞ！



鶴見川に捨てられていたゴミをマップで紹介しました

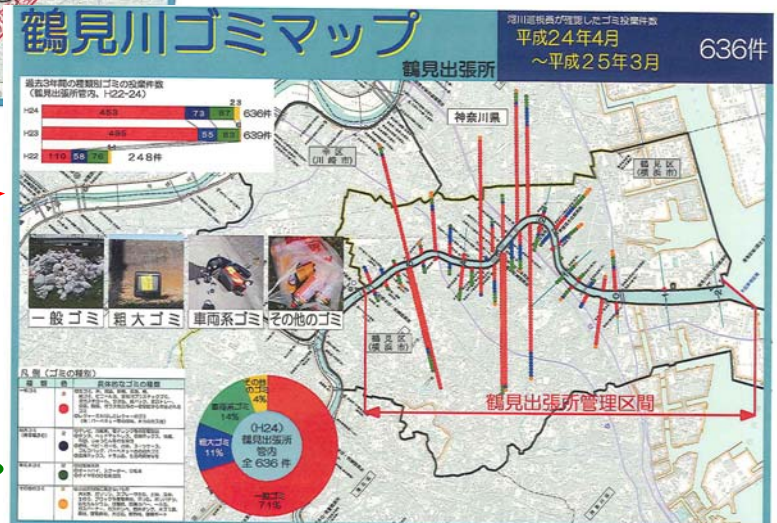
京浜河川事務所では、河川に不法投棄されたゴミを収集・処分しています。
このゴミの収集・処分にはお金がかかっており、その費用はみなさんの税金から支払われています。河川へのゴミの投棄がなければ、必要のないお金です。
河川のゴミ投棄の実態をみなさんに知っていただくために、鶴見川等で行っている河川巡視が確認したゴミの場所を地図にしました。
みんなが気持ちよく河川を利用できるように、ゴミを持ち帰るようにしましょう。
なお、各ゴミマップは京浜河川事務所ホームページからダウンロードできます。
<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00265.html>



新横浜出張所管内で河川巡視員が確認した1年間のゴミの状況です。

鶴見出張所管内で河川巡視員が確認した1年間のゴミの状況です。

これらのゴミは、数ヶ月に1回集めて処分しています。



鶴見川流域センターは鶴見川の情報発信しています

あ と が き

今月は、台風の関係で15日(日)16日(祝)と職員が出勤しました。私は、14日(土)鶴見川流域センターの来館者を案内する当番で出勤し、休日3日間の勤務となりました。

全国的には、台風18号の影響で堤防が決壊したり、増水した水が堤防を乗り越えたりと大変な状況の所が出ていました。

鶴見川においても、いつ災害が起こるかわかりません。過去の鶴見川の水害や現在行われている治水対策を学んで、鶴見川のことを知って欲しいなと強く感じました。

また、鶴見川下流部では、大地震に備えて堤防下の液状化対策工事が10月中旬から始まります。災害を防止するための工事ですので、ご理解、ご協力をお願いします。

『鶴見川出張所だより』編集長(上林喜美夫)

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設として運営しています。

この流域センターの来館者は、4月以降半年間で約15,500名を迎え、平成15年9月に開館して以来、約192,000名の来館者が訪れています。

鶴見川流域センターでは、10月を生物多様性月間として展示内容を変更しています。アユの展示も今月中旬までです。

ぜひ、ご来館し見学して下さい。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)